

## 7月15日(金)18:00~19:00 第二回 里山・棚田プロジェクト会議

日 時:平成 23 年 7 月 15 日 (金) 18 : 00~19 : 00

場 所:北九州市森林組合

参加人数:9 名

### ■会議内容

#### 1、里山・棚田プロジェクトの趣旨説明

今までの活動は、準備から作業、片付け、そのときに感じる思いや考え等を現場で完結することが多かった。里山・棚田プロジェクトでは、今後現場だけで完結せず、トラストの活動をより身近に感じてもらうために、自分の生活の中に「里山」を取り入れていこうという取り組みであることを改めて説明。(今年度から始まったプロジェクト)

#### 2、第一回目の会議のふりかえり

ブレーンストーミングによってアイディア出ししたものを読み返す。(別紙1 参照) また、その中から「竹チップによる家庭生ゴミ処理」と「家族が日常的に使う本格箸づくり」を行っていくことを確認。

#### 3、竹チップによる家庭生ゴミ処理について

各々が実際に家で行ってみよう、と能美さんが提案。また、その際に竹灯づくりで出てきた竹チップを使うことにする。

それを踏まえた上で、すでにコンポストによる生ゴミ処理を実践している畠中さんによるコンポストについての説明。実際に生ゴミからできた堆肥も見せてもらった。(写真1)

話し合いの結果、コンポストに使う道具や方法が決まった。詳細については8月3日竹灯づくりの時に用紙を配布する予定。また、参加されない方に関してはメールやFAXでも送る予定。

8月3日(水)竹灯づくりにて各々で開始する。



#### 4、家族が日常的に使う本格箸づくりについて

能美さんが持参した箸をつくる道具を紹介。(写真2) カンナで削りながら箸をつくっていく道具。この道具を使い、次回の会議では実際に箸を作ってみようということになった。

箸になる材料は未定だが、できるだけ丈夫な木、また、竹を使ってみようという案がでた。次回の会議は体験的に行うものなので杉を使う。



#### 5、スタードームについて

赤松さんが持ってきた、スタードームについての資料と実際に使用できる竹材、紙で作ったスタードームの模型を見ながら話し合った。(写真3)

スタードームとは、竹を使用して作った、半球型のドーム状のもの。大きさは直径6mほどのものから10cm程度のものまでさまざま。使用方法是多数あり、布を張って基地にしたり、プラネタリウムにしたり、小さいものでは灯籠などにも使われる。(参考 HP : [www.stardome.jp/](http://www.stardome.jp/))

今回は直径約3m、高さ約1.5mのものを畑に作り、その上にカボチャ等のつる性の作物をはわせてみよう、という予定。そうすることで、イノシシ等の被害にあう可能も少なく、日陰のスペースも確保でき、見た目もユニークという効果が期待できる。

次回の会議のときに、小さいサイズの物を作ってみようということになった。



## 6、8月の活動について

8月3日(水) 9:00～ 奥田にて、「竹灯づくり」・・・小倉北区の辻利さんから依頼があったもの。収益事業。このときに出てきた竹チップを生ごみ処理(コンポスト)に使う。

8月12日(金) 18:00～ 奥田にて、「夏の夜空の観察会」・・・流星群の観察をする予定です。

### 〈別紙1〉

#### 里山・棚田プロジェクト

--- 自分たちの生活に活かせる里山の恵み ---

< 2011.06.17 の記録 ～皆さんからの提案 >

#### ▼燃料、材料

- ・竹チップの活用、和紙作り
- ・炭焼き
- ・里山整備で出た木材利用(しいたけ、薪作り)

#### ▼竹

- ・竹細工
- ・竹のブドウ棚
- ・木材、竹を使った食器作り
- ・竹チップの普及(販売による低コスト化→開発プロジェクトの発足)
- ・竹ペレット、飼料
- ・孟宗竹利用の小屋、ログハウス
- ・区画ごとのオリジナルな小屋、竹の棚-空中かぼちゃ、パーゴラ
- ・スタードームの利用

#### ▼米

- ・米作り
- ・自然農法
- ・無農薬野菜

#### ▼イノシシ問題

- ・シカとイノシシを食べる(シビエ)
- ・毛皮の利用

#### ▼あそび

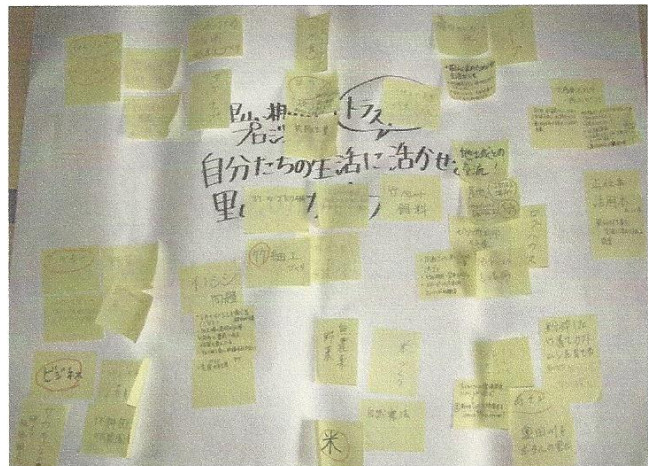
- ・粉碎した竹屑でカブトムシを育てる
- ・動物のフンさがし
- ・虫の里作り
- ・子供たちへの環境教育

#### ▼まつり、地域との交流

- ・竹林オーナー制度の拡充
- ・荒れた棚田のビオトープ化
- ・田んぼのため池を活かす
- ・揚水ポンプ
- ・自然食レストラン
- ・共同作業
- ・山仕事活用本を作る(里山の仕事を生活に取り入れる提案)

#### ▼ビジネス

- ・竹の活用、事業化
- ・休耕田活用、市民農園管理
- ・サカキなど植えて、枝物販売



## 8月12日(金)18:00~20:30 夏の夜空の観察会

### ■活動概要

日 時:平成23年8月12日(金) 18:00~20:30

場 所:河内・奥田の森

参加人数:5名

### ■活動内容

夕方から夜に変わる間に、星や月、宇宙について講習会を行ったり、双眼鏡や望遠鏡で月の観察を行ったりと楽しみながら夜になるのを待った。

暗くなりはじめ、うしつかい座のアルクトゥルスが見え始めると、こと座のベガ、さそり座のアンタレス、わし座のアルタイルなど、夏の星を次々に見ることができた。途中、人工衛星が飛んでいる様子も観察できた。

その後、雲が出てきはじめ、星が見えなくなってきたため20時半に終了した。

今年の流星群は12日の22時頃から見ることができるとのことなので、あとは各々が家で観察してみようということになった。

ペルセウス座流星群がみられるということで「夏の夜空の観察会」を行ったが、今回の時間帯では早く、流星群は見ることができなかった、夏の星空や月、宇宙への興味関心が高まった観察会であった。



月や星空を観察している様子



## 8月20日(土)9:00~12:00 第三回 里山・棚田プロジェクト会議

### ■活動概要

日 時:平成23年8月20日(土) 9:00~12:00

場 所:北九州市森林組合

参加人数:7名

議題内容:1、スタードームについて 2、箸づくりについて 3、里山祭について

### ■活動内容

#### 1、スタードームについて

スタードームを作る目的としては、①畑で育てている野菜を這わせるためと、②野外作業を行った時の簡易休憩所を作るためである。

今回は「野研」のスタードームと、トラスト会員オリジナルの竹ドームの2種類について話した。

「野研」のスタードームについては前回の会議でも話題に出ていたため、資料の配布のみ行った。

トラスト会員オリジナルの竹ドームについては道具を持ってきたため、組み立ててみることになった。会員の指導のもと、全員で組み立ててみたがそれほど人手はかからず、「野研」のスタードームほど組み立ても難しくなかった。そのため目的②に活用できるのではないかと、という考えでまとまった。トラスト会員オリジナルの竹ドームは「バンブーハウス」と名付けられた。

今後はモウソウ竹で作れるか一度試してみることが必要だ、という話もあがった。

#### 2、箸づくりについて

前回、トラスト会員が持参した箸をつくる道具を使い、杉と竹を材料に箸を使ってみることとなった。

作り方としては、ある程度の長さ、太さに切った木材を能美さんの道具にセットし、カンナで削りながら箸の形をつくっていく。その後、サンドペーパーで削り、油（今回はオリーブオイル）でコーティングして完成。（竹の場合はコーティングはせず、かわりにバーナーの火であぶり、油抜きを行う。）

杉に関しては、木材の目の方向に注意しながらカンナで削ることができれば、だれでも作れる。

竹に関しては、はじめにナタで切り出す段階で表面が水平でなかった場合、カンナで削ってもうまく箸の形に削ることが出来ないということが分かった。しかし、はじめの作業を注意して行えば、カンナで削る作業は杉よりも簡単で、完成した箸はすごくいい味もでていた。

#### 3、里山祭について

本で行った箸づくりを里山祭の中に取り入れてもいいのではないかという意見がでた。竹を伐り出すところから行えば、自分の作った箸に対して愛着がわく可能性がある。

箸づくりの活動を参考にしながら、次回はより具体的に里山祭について考えていく。



バンブーハウスの材料



組み立ての様子



完成した竹箸

## 9月11日(日)9:00~12:00 下草刈り作業

### ■活動概要

日 時:平成23年9月11日(日) 9:00~12:00

場 所:河内・奥田の森

参加人数:14名

持 ち 物:運動しやすい服装、帽子、軍手、汗ふきタオル、飲料水、弁当、保険代(1000円)

備 品:ヘルメット、大鎌、刈払機、軍手、お茶、紙コップ、救急備品

### ■活動内容

竹林(クヌギの植林地)での下草刈り作業。世話人は刈払機を使用。その他のトラスト会員は大鎌を使って作業を行った。

作業前に世話人より作業範囲、大鎌の使い方、細い竹の伐り方、注意事項等の説明があった。刈払機を使って作業現場の足場をある程度ととのえてから作業開始。作業現場内には1mほどに成長したクヌギもあるため、下草と一緒に伐ってしまわないように注意しながら行った。1時間ごとにとった休憩では植物の同定や昆虫の話し等で盛り上がった。作業は順調に進み、12時終了。その後、駐車場にて昼食をとり、解散した。

作業途中、大鎌による負傷者が1名でた。現場である程度止血し、小倉の救急病院まで搬送し治療した。軍手をはめていたおかげで大事な怪我には至らなかったが、今までにないことだったため現場での応急処置や病院までの搬送が少し手間取ってしまった。救急備品や応急処置の方法、救急病院の連絡先等、救急対応を改めて見直す必要があることが分かった。



作業の様子



作業中に見つけたヤマジノホトギス

## 9月23日(祝金)17:00~19:00 第四回 里山・棚田プロジェクト会議

### ■活動概要

日 時:平成23年9月23日(祝金) 17:00~19:00

場 所:北九州市森林組合

参加人数:8名

議 題:里山祭について

### ■活動内容

今年度の里山祭の内容や時間、担当者を決めた。

今年度の里山祭の目玉イベントはオカリナ演奏。午前(昼食直前)と、午後(里山祭終了直前)の2回演奏を行う。オカリナの演奏を聴くだけでなく、オカリナをもっている方は一緒に演奏ができ、持っていない方も合唱し、参加できるような内容になっている。

また、今回は机やいすは作らず、箸と食器だけを作ることにした。昨年度は午前中に行った箸、食器と机、いす作りでたくさんの時間と手間が取られてしまい、他の活動に影響が出てしまったため、今回は参加者が箸と食器作りのみに集中できるようにした。昨年度と同様、保護者のいない子どもに関しては、十分注意しながら作業を行う必要がある。

他、昨年に実施した里山昼食づくり、焼どんぐり、草木染め、和珨作りは改善を加え実施する。

## 10月26日(日)9:00~12:00 竹林整備のための安全講習会

### ■活動概要

日 時:平成23年10月16日(日) 9:00~12:00

場 所:河内・奥田の森

参加人数:12名(内、講師3名)

持 ち 物:運動しやすい服装、帽子、軍手、汗ふきタオル、飲料水、弁当、保険代(500円)

備 品:ヘルメット、ノコギリ、刈払機、チェーンソー(小)、軍手、救急備品

### ■活動内容

竹林での伐竹作業。集合場所である駐車場にて能美さんからあいさつがあった後、講師の紹介を行った。

作業現場の竹林に移動し、講師による伐竹についての説明を受ける。その後、チェーンソーとノコギリでの伐竹方法、竹の選定方法等、実際に竹を伐りながら講習を行った。

以上の講習を踏まえた上で、ノコギリでの伐竹作業に移る。今回は竹林オーナーの方が2名参加されていたので、その方たちの竹林を中心に行った。1時間半ほど作業し、終了した。



実際に竹を伐って講習している様子



講習後の伐竹作業

## 10月20日(水)18:00~19:30 第五回 里山・棚田プロジェクト会議

### ■活動概要

日 時:平成23年10月20日(水) 18:00~19:30

場 所:北九州市森林組合

参加人数:9名

議 題:里山祭について

### ■活動内容

10月11日(火)に世話人2名と事務局1名にて、地主の方、河内小学校に里山祭開催のご挨拶とチラシの配布(町内会は回覧板にて配布)のためお伺いしたことをご報告した。次に、里山祭の申し込みが現在全く来ておらず、10月16日(日)安全管理講習会に際に事務局より会員の皆様へチラシをお渡しする予定だったが、渡しそびれたことをお詫びの上、改めて10枚ずつチラシを皆さんにお渡しした。

各プログラムについて、運営リーダー、スタッフ、定員、備品、備品準備者、実施場所、予算を確認した。竹の伐り出しは会場図②③の境と③④の境の竹を利用することを確認。足りない場合に⑨を利用する。

「木の実や野草での草木染め」はご担当の方が出席できなかった為、代理の方に確認を行っていただいた。

「オカリナ演奏」もご担当の方が出席できなかった為、代理の方より曲目・歌詞カードを頂き確認を行った。また演奏曲目として「小さい秋」を追加したいとの要望があった。現在、調整中。

アンケートを参加者に配布することを確認した。

荒天時の判断は、前日11/2(水)17:00に世話人、事務局にて行う。



10月23日、30日、11月6日、13日、20日、27日(各日)9:00~12:00

## 銀杏拾いのお手伝い

### ■活動概要

日 時:平成23年10月23日、30日(各日)9:00~12:00

平成23年11月6日、13日、20日、27日(各日)9:00~12:00 <全6回>

場 所:中村さん宅の銀杏農園

持 ち 物:動きやすい服装、動きやすい靴または長靴、タオル、ゴム手袋、水筒、弁当、保険代500円

### ■活動内容

竹林所有者の銀杏農園にて、銀杏拾いの手伝いを行う。拾う作業はすべて手作業。今の時期は銀杏農園一面に銀杏が落ちるため、人やトラックが通る通路を中心に拾った。拾った銀杏は袋に集めたあと、小さなトラクタにて作業場に運び、遠心分離機によって実と種に分けられる。

少雨ならば作業可能。しかし、その際は足元が滑りやすくなっているので注意する。

銀杏拾いは朝9時から行い、12時に終了。その後、河内駐車場や、銀杏農園にて昼食をとり解散。



たくさん実っている銀杏



種と果肉を分ける遠心分離機

## 11月15日(火)17:00~19:00 第六回 里山・棚田プロジェクト会議

### ■活動概要

日 時:平成23年11月15日(火) 17:00~19:00

場 所:北九州市森林組合

参加人数:9名

議 題:里山祭の成果と課題について

### ■活動内容

2011里山祭の成果と課題、来年に向けての提案を皆で出し合った。(別紙「成果と課題」参照)

現在、事務局で里山祭報告書を作成中であるため、現段階のものを皆さんに見てもらった。その中の、成果と課題(事務局で考えたもの)をもとに他の意見やトラストスタッフが感じた感想等を出してもらった。

今回の会議では各プログラムの担当者が集まってくれたため、プログラムの良かったところや具体的な改善点等、担当者には気づかないような細かな点が数多く出され、来年度の里山祭につながる会議となった。

## 12月13日(火)17:00~20:00 冬の夜空の観察会

### ■活動概要

日 時:平成23年12月13日(火) 17:00~20:00

場 所:河内・奥田の森 田んぼ道(集合場所:駐車場)

参加人数:9名

持 ち 物:動きやすい服装・靴、防寒着、飲料水、保険代500円

### ■活動内容

ふたご座流星群の観察を行う予定だったが、今回は時間の都合上観察することができなかった。

18時過ぎ、辺りが暗くなり始め、星もいくつか見えはじめた。望遠鏡で一番初めに観察できた金星の観察をしながら他の星が現れるのを待った。

18時半、辺りは真っ暗になり、カシオペア座やはくちょう座、すばるなどの星が観察できた。さらに多くの星が出てくるのを待つ間、休憩も兼ねて星の講座を行った。ホワイトボード等も用意していたが、夜露で使うことができなかったため、来年度は画用紙を使うなどの工夫が必要。

20時、雲の影響で星の観察ができなくなったため、解散。

今回の目的であったふたご座流星群の観察はできなかったが、普段じっくりと見る機会のない星空の観察ができ、皆楽しめたようだった。



会場のセッティングの様子(左:望遠鏡 右:机、椅子、ホワイトボード)



観察の様子



講座の様子

## 12月17日(土)9:00~12:00 第七回 里山・棚田プロジェクト会議

### ■活動概要

日 時:平成23年12月17日(土) 9:00~12:00

場 所:河内・奥田の森(集合場所:駐車場)

参加人数:10名

持 ち 物:動きやすい服装・靴、帽子、軍手、汗ふきタオル、飲料水、弁当、保険代500円

### ■活動内容

河内・奥田の森にある材料(竹、シダ、ガマズミなど)を使って正月用の門松を作製する。

竹林オーナーの方に許可をとり、竹を2本伐り倒す。門松のデザインは自由に、大きささまざまな門松を各々で作製していく。道具はトラストの備品(竹きりのこ、ナタ、ヘルメット)を用意した。

11時半頃、作製終了。暖をとるために用意した焚き火を囲んで昼食をとった。昼食後、駐車場にて解散。作製した門松は各々で持ち帰った。

活動終了後、竹きりのこが1本なくなっていることに気づき、世話人と事務局で探したが見つからなかった。活動終了後は備品の確認を徹底したいと思う。



門松作製の様子



参加者の作品



## 1月15日(日)9:00~12:00 竹林と里山の整備

### ■活動概要

日 時:平成24年1月15日(日) 9:00~12:00

場 所:河内・奥田の森(集合場所:駐車場)

参加人数:12名(内、講師3名)

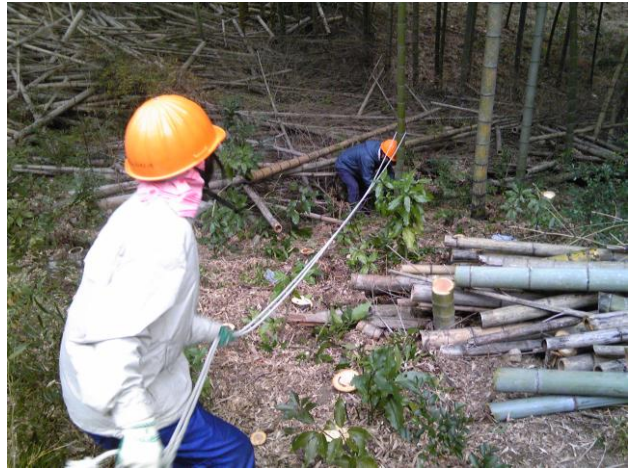
持 ち 物:運動しやすい服装、軍手、飲料水、弁当、保険代(500円)

備 品:ヘルメット、ノコギリ、チェーンソー(小)、救急備品

### ■活動内容

最初に、講師より林内の整備方法について、特に伐竹の時期や手順などについてお話しいた。次に、伐竹の際に注意すべき点をお話しいた後、ロープとノコギリを使った伐竹方法を実際に見せて頂いた。参加者は、講師に倣ってロープやノコギリの扱い方を教えて頂いた通りに何度か練習した。

以上の講習を踏まえ、実践的に林内での伐竹作業を行なった。



林中での実践

### ■次回の活動日時と内容

#### 「竹林と里山の整備」

日 時:2月4日(土) 9:00~13:00

場 所:河内・奥田の森(集合場所 駐車場)

内 容:竹林整備のための安全講習会

持 参 物:運動しやすい服装・靴、帽子、軍手、汗ふきタオル、飲料水、弁当、保険代 500 円

## 2月4日(土)9:00~12:00 竹林と里山の整備

### ■活動概要

日 時:平成24年2月4日(土) 9:00~12:00

場 所:河内・奥田の森

参加人数:14名(内、講師1名)

持 ち 物:運動しやすい服装、帽子、軍手、汗ふきタオル、飲料水、弁当、竹びきのこ、保険代(500円)

備 品:ヘルメット、刈払機、チェーンソー(小)、救急備品

### ■活動内容

駐車場にてあいさつ後、竹林内へ移動。講師より、ロープを使った伐竹の方法を実践しながら講習を行った。その後、参加者全員で作業を行った。

林内の道際に生えている竹を伐竹する班と、積んである竹を整備する班に分かれ作業に取り掛かった。伐竹班は道際に生えていた竹は2~3本ほど、ロープを使って倒し、同時に伐竹についてのアドバイス等を講師の方に教えてもらいながら行った。また、整備班の作業によって、竹が乱雑に放置してある状態だったが、向きをそろえて並べることで人が行き来できるようになるまできれいになった。

作業は11時半頃終了。その後、竹林の中で昼食をとり、解散した。



講習の様子



道際の伐竹をする班



竹を整備する班



最後は全員で竹の整備を行った